

ヤリスクロスは、トヨタのコンパクト SUV で、多くの人に支持されています。しかし、どの車にも良い点と悪い点があります。

ヤリスクロスも例外ではありません。

以下では、ヤリスクロスの様々な後悔ポイントについて詳しく解説します。

ヤリスクロスを購入して後悔するポイント

ポイント

- ・ヤリスクロスの評判が悪い理由
- ・エンジン音がうるさいと感じる人
- ・視界が悪いという意見
- ・長距離運転で疲れる理由
- ・ダサくて安っぽいと感じる人もいる
- ・アームレストが装備されていない問題
- ・後部座席が狭いという意見
- ・ルームランプが豆球
- ・乗り心地が悪いと感じる人の意見
- ・乗り心地を改善する方法
- ・ヤリスクロスのメリットと良いところ
- ・グレード一覧と1番上のグレード
- ・ガソリン満タンで走れる距離
- ・支持されている年齢層

ヤリスクロスの評判が悪い理由

ヤリスクロスは、そのコンパクトなデザイン、優れた燃費性能、そして運転のしやすさから、多くのドライバーに高い評価を受けています。

特に、街中での取り回しの良さや、先進の安全装備、低燃費技術などがユーザーから評価されています。

しかし、全てのユーザーが満足しているわけではありません。一部のユーザーからは、「エンジン音がうるさい」「視界が悪い」「長距離運転で疲れる」等のネガティブな評判も寄せられています。

これらのネガティブな評判の背景には、ヤリスクロスのエンジン性能や車体の設計が大きく影響しています。

ヤリスクロス多くの長所を持つ一方で、一部のユーザーにとっては欠点と感じる部分も存在する為、今回はそれを整理していきたいと思います。

エンジン音がうるさいと感じる人

ヤリスクロスのエンジンは、燃費性能を重視した設計になっています。

そのため、エンジン音が大きく、一部のユーザーからは「うるさい」との声が上がっています。

特に、高速道路での運転時や、アクセルを強く踏んだ時に、エンジン音が大きくなる傾向にあります。

エンジン性能と音量

ヤリスクロスは、1.5 リットル 3 気筒エンジンを搭載しています。

このエンジンは、軽量化と燃費効率を重視した設計で、最高出力は 120 馬力、最大トルクは 145Nm です。

しかし、このエンジンは、高回転時に音が大きくなる特性があります。特に、アクセルを強く踏むと、エンジンは高回転域に入り、その結果、エンジン音が大きくなります。

高速道路での運転

高速道路での運転時、特に加速時や上り坂での運転時に、エンジン音が大きくなる場合があります。

これは、エンジンが高負荷状態になり、高回転域で運転することが多いためです。

また、ヤリスクロスは、エンジン音を抑えるための遮音材が少ないため、エンジン音が車室内に響きやすいです。

エンジン音に敏感な人

エンジン音に敏感な人、特に静かな車内を求める人にとって、ヤリスクロスのエンジン音はストレスになる可能性があります。

静かな車内を求める人は、エンジン音だけでなく、タイヤノイズや風切り音など、他の騒音も気になるため、ヤリスクロスのエンジン音が大きいことは、購入を検討する際の重要なポイントになります。

視界が悪いという意見

ヤリスクロスのデザインは、スタイリッシュでモダンな印象を与えます。

しかし、そのデザイン性からくる視界の悪さも指摘されています。

特に、後方視界が狭く、バックミラーを見ても、後方の車が見えにくいという意見が多く寄せられています。

デザインと視界

ヤリスクロスのデザインは、流線型でスポーティな外観を持っています。

そのため、リアウィンドウが斜めになっており、これが後方視界の狭さにつながっています。

また、Cピラーが太く、これも視界を遮ってしまいます。

バックカメラの活用で視界不足を補完可

ヤリスクロスには、バックカメラが標準装備されています。

このバックカメラを活用することで、後方視界の不足を補うことができます。

ただし、バックカメラはあくまで補助的なものであり、運転時の注意は必要です。

駐車時の注意

ヤリスクロスの後方視界が狭いため、駐車時には特に注意が必要です。

特に、狭い駐車場や、後方に障害物がある場合、バックカメラを活用しながら、ゆっくりとバックすることがおすすめです。

長距離運転で疲れる理由

ヤリスクロスは、コンパクトな車体で、市街地での運転に適しています。

しかし、一方で、長距離運転には向いていないという意見もあります。

その理由として、シートの硬さ、運転席の狭さ、エンジン音の大きさなどが挙げられます。

シートの硬さ

ヤリスクロスのシートは、支持力が高く、しっかりと体を支えてくれます。

しかし、その硬さが、長時間の運転で疲れを感じさせる原因となります。特に、背中や腰に負担がかかり、長距離運転後には体が痛くなることもあります。

運転席の狭さ

ヤリスクロスは、コンパクトな車体のため、運転席も狭めです。

そのため、長時間の運転では、体を動かす余地が少なく、疲れが溜まりやすくなります。

エンジン音の大きさ

前述の通り、ヤリスクロスのエンジン音は大きいです。

長距離運転では、エンジン音が車室内に響き、これが疲れの原因となります。

ダサくて安っぽいと感じる人もいる

ヤリスクロスのデザインは、一部のユーザーから「ダサイ」「安っぽい」という意見が寄せられています。

これは、車体のプラスチックパーツが多いため、質感が劣ると感じる人がいるからです。

内装でのプラスチックパーツの多用

ヤリスクロスは、軽量化とコストダウンを目的に、車体の多くの部分にプラスチックパーツを使用しています。

これにより、車体の重量を抑え、燃費性能を向上させています。

しかし、その一方で、プラスチックパーツの多用により、一部のユーザーからは「安っぽい」という意見が出ています。

デザインの好み

「ダサイ」という意見は、デザインの好みによるものです。

ヤリスクロスのデザインは、スポーティでモダンな印象を持っています。

しかし、そのデザインが、一部のユーザーの好みに合わない場合もあります。

アームレストが装備されていない問題

ヤリスクロスの一部グレードでは、アームレストが装備されていないという問題があります。

これには、コスト削減のため、あえて装備されていないと考えられます。

コスト削減の取り組み

ヤリスクロスは、価格を抑えるために、一部の装備を省いています。

その一つが、アームレストです。アームレストは、運転中の快適さを向上させるための装備ですが、一部のグレードでは、コスト削減のために省かれています。

快適性の犠牲

アームレストがないことで、長時間の運転時に、腕の疲れが溜まりやすくなります。

特に、高速道路での運転時に、アームレストの absence が疲れを感じさせる要因となります。

どうしてもアームレストが必要な場合はオプションで付けることをおすすめします。

後部座席が狭いという意見

ヤリスクロスは、コンパクト SUV であるため、後部座席のスペースが狭いという意見があります。

特に、大人が後部座席に座ると、膝が窮屈に感じることがあるという報告があります。

コンパクト SUV の特性

ヤリスクロスは、コンパクト SUV として設計されています。

そのため、全体的な車体サイズをコンパクトに抑えることで、取り回しの良さや燃費性能を向上させています。

しかし、その結果、後部座席のスペースが犠牲になってしまっています。

大人の乗車について

後部座席に大人が座ると、特に膝周りのスペースが不足していると感じられます。

これは、前席の背もたれと後部座席の間隔が狭いためです。

ルームランプが豆球

ヤリスクロスのルームランプは、豆球を使用しています。

これには、コスト削減のため、LED ライトではなく、豆球を採用していると考えられます。

コスト削減の取り組み

ヤリスクロスは、価格を抑えるために、一部の装備を省いたり、コストの低い材料を採用しています。

その一つが、ルームランプの豆球です。LED ライトに比べ、豆球はコストが低いため、コスト削減の一環として採用されています。

豆球のデメリット

豆球は、LED ライトに比べて、明るさが劣り、寿命が短いというデメリットがあります。

また、豆球は発熱が大きいので、長時間の使用には向いていません。

乗り心地が悪いと感じる人の意見

ヤリスクロスの乗り心地について、一部のユーザーから「悪い」という意見が寄せられています。

これは、サスペンションの硬さや、シートの硬さが影響していると考えられます。

サスペンションの硬さ

ヤリスクロスは、スポーティな走行性能を目指して、サスペンションを硬めに設定しています。

そのため、路面の凹凸をダイレクトに感じることもあり、一部のユーザーからは、乗り心地が悪いと感じられることがあります。

シートの硬さ

ヤリスクロスのシートは、支持力を高めるために、硬めの材質が使用されています。

そのため、長時間の運転で、お尻が痛くなるという意見もあります。

乗り心地を改善する方法

ヤリスクロスの乗り心地を改善するためには、サスペンションの交換や、シートカバーの追加などが考えられます。

また、タイヤの空気圧を適切に保つことも、乗り心地の改善につながります。

サスペンションの交換

ヤリスクロスのサスペンションは、スポーティな走行性能を目指して硬めに設定されています。

そのため、乗り心地を重視するユーザーは、サスペンションを柔らかめのものに交換することを検討すると良いでしょう。

シートカバーの追加

ヤリスクロスのシートは、支持力を高めるために硬めの材質が使用されています。

そのため、シートカバーを追加することで、シートの硬さを和らげ、乗り心地を改善することができます。

タイヤの空気圧を適切に保つ

タイヤの空気圧が不適切な場合、乗り心地が悪くなるだけでなく、燃費も悪化します。

そのため、タイヤの空気圧を適切に保つことは、乗り心地の改善に加え、燃費の向上にもつながります。

ヤリスクロスのメリットと良いところ

上記が主に欠点と言われるものになります。

一方で、ヤリスクロスには、多くのメリットもあり、燃費性能が良い、運転がしやすい、デザインがスタイリッシュ、安全装備が充実しているなど、多くの良い点が挙げられます。

燃費性能が良い

ヤリスクロスは、トヨタの新しいプラットフォーム、TNGA(Toyota New Global Architecture)を採用しています。

これにより、車重の低減とボディ剛性の向上が図られ、燃費性能が向上しています。

具体的には、ヤリスクロスの燃費は、ガソリン車で 18.0km/L、ハイブリッド車で 22.0km/L となっています。

運転がしやすい

ヤリスクロスは、コンパクトなボディサイズで、全長 4,180mm、全幅 1,765mm、全高 1,560mm となっています。

このため、狭い道でも運転しやすく、駐車もしやすいです。

デザインがスタイリッシュ

ヤリスクロスのデザインは、ダイナミックでスタイリッシュな印象を与えます。

特に、フロントグリルのデザインや、サイドのキャラクターラインが特徴的です。

安全装備が充実している

ヤリスクロスは、トヨタの先進的な安全技術、Toyota Safety Sense を標準装備しています。

これにより、衝突回避支援、車線逸脱警報、自動ハイビームなど、多くの安全装備が利用できます。

長所まとめ

ヤリスクロスは、燃費性能が良く、運転がしやすい、デザインがスタイリッシュ、安全装備が充実しているなど、多くのメリットがあります。

これらの点を考慮すると、ヤリスクロスは、多くのユーザーにとって魅力的な選択肢となるでしょう。

グレード一覧と1番上のグレード

ヤリスクロスは、様々なグレードが用意されています。それぞれのグレードによって、装備や性能が異なります。1番上のグレードは、「Z "B package" 4WD」です。このグレードでは、最も豪華な装備や、最高の性能が得られます。

グレード一覧

ヤリスクロスは、以下のグレードが用意されています。

1. X
2. G
3. Z
4. Z "B package"
5. Z "B package" 4WD

それぞれのグレードには、以下のような特徴があります。

1. X: 基本グレードで、最も価格が手頃です。16 インチのスチールホイール、スマートエントリー、プッシュスタート、バックカメラなどが標準装備されています。
2. G: X グレードの上位モデルで、17 インチのアルミホイール、LED ヘッドランプ、TSS(Toyota Safety Sense)などが標準装備されています。
3. Z: G グレードの上位モデルで、18 インチのアルミホイール、9 インチのディスプレイオーディオ、ナビゲーションシステム、本革巻きステアリングホイールなどが標準装備されています。
4. Z "B package": Z グレードの上位モデルで、合成皮革のシート、パワーシート、スマートエントリー&スタートシステム、ブラインドスポットモニターなどが標準装備されています。
5. Z "B package" 4WD: 最上位グレードで、Z "B package"の装備に加え、4WD が標準装備されています。

1 番上のグレード: Z "B package" 4WD

Z "B package" 4WD は、ヤリスクロスの最上位グレードです。このグレードでは、以下の装備が標準で付いています。

- 4WD: 四輪駆動システムで、悪路でも安定した走行が可能です。
- 合成皮革のシート: 高級感があり、清掃もしやすい。
- パワーシート: 運転席と助手席のシート位置を電動で調整できます。
- スマートエントリー&スタートシステム: キーを持っていれば、ドアの開閉やエンジンの始動がボタン一つで行えます。
- ブラインドスポットモニター: ドアミラーに表示される警告灯で、死角に入った車を知らせてくれます。

このように、Z "B package" 4WD は、最も豪華な装備と最高の性能が得られるグレードです。ただし、価格も最も高くなりますので、購入を検討する際は、必要な装備や性能、予算を考慮して選びましょう。

ガソリン満タンで走れる距離

ヤリスクロスの燃費性能は、10.2km/L から 18.6km/L です。そのため、ガソリン満タン (40L) で、約 408km から 744km 走ることができます。

ただし、これはあくまで目安で、実際の走行距離は、運転方法や道路状況によって異なります。

燃費を向上させるためには、スムーズな運転と適切な速度を保つことが重要です。

以下の点も考慮するとよいでしょう。

燃費性能のバリエーション

ヤリスクロスの燃費性能は、グレードや運転モードによって異なります。

例えば、ハイブリッドモデルは、一般的にガソリンモデルよりも燃費が良いです。

また、エコモードを選択することで、燃費を向上させることができます。

運転方法と燃費

運転方法も燃費に大きく影響します。急加速や急ブレーキ、高速での運転などは、燃費を悪化させます。

一方、スムーズな加速や適切な速度での運転は、燃費を向上させます。

道路状況と燃費

道路状況も燃費に影響します。アップヒルやダウンヒル、カーブなどの道路では、燃費が悪化する傾向にあります。

また、渋滞時や信号待ちなどの停止時間が多い場合も、燃費が悪化します。

支持されている年齢層

ヤリスクロスの主なターゲットは、20代から40代の男女です。

その理由は、デザインが若者向けで、価格も手頃であるため、この年齢層の人々に支持されています。

以下の特徴が、ヤリスクロスをこの年齢層の人々にとって魅力的な選択肢としています。

若者向けのデザイン

ヤリスクロスは、スタイリッシュでモダンなデザインが特徴です。

シャープなラインとダイナミックなフォルムが、若者のエネルギーと活力にマッチしています。

また、カラーバリエーションも豊富で、若者の個性を表現するのに適しています。

手頃な価格

ヤリスクロスは、コンパクト SUV の中でも比較的価格が手頃です。

基本グレードの「X」は、価格が約 200 万円からとなっており、20 代から 30 代の若い世代でも購入しやすい価格設定となっています。

安全装備

ヤリスクロスは、Toyota Safety Sense(TSS)を標準装備しています。

これは、プリクラッシュセーフティ、レーントレーシングアシスト、アダプティブハイビームシステムなど、多くの安全装備を含んでいます。

これにより、若いドライバーでも安心して運転することができます。

環境性能

ヤリスクロスは、ハイブリッドシステムを採用しており、燃費性能が良いです。

これは、環境に配慮したいと考える若者にとって、魅力的なポイントとなります。

ヤリスクロス購入で後悔しない為の判断基準

ヤリスクロスは、上記のように欠点、長所が存在します。以下では、それらを踏まえて、もう一度ヤリスクロスを購入する際の判断基準について詳しく解説します。

ヤリスクロスに合わない人の特徴

ヤリスクロスは、以下のような人には向いていないかもしれません。

長距離運転を頻繁に行う人

ヤリスクロスはコンパクト SUV で、市街地での運転に適しています。

しかし、シートの硬さや運転席の狭さ、エンジン音の大きさなどから、長距離運転では疲れを感じやすいかもしれません。

静かなエンジン音を重視する人

ヤリスクロスのエンジンは燃費性能を重視した設計になっており、エンジン音が大きい傾向にあります。

特に、高速道路での運転時やアクセルを強く踏んだ時に、エンジン音が大きくなります。

広い後部座席を必要とする人

ヤリスクロスはコンパクト SUV であるため、後部座席のスペースが狭いです。

大人が後部座席に座ると、膝が窮屈に感じることもあるため、広い後部座席を必要とする人には向いていないかもしれません。

豪華な内装を求める人

ヤリスクロスの内装は、一部のユーザーから「ダサイ」「安っぽい」という意見が寄せられています。

また、車体のプラスチックパーツが多いため、質感が劣ると感じる人がいるかもしれません。

ヤリスクロスに合う人の特徴

一方、ヤリスクロスは、以下のような人には向いていると考えられます。

燃費性能を重視する人

ヤリスクロスは、燃費性能が 10.2km/L から 18.6km/L と、非常に良好です。

そのため、ガソリン満タン(40L)で、約 408km から 744km 走ることができます。

これはあくまで目安で、実際の走行距離は、運転方法や道路状況によって異なります。

しかし、燃費性能を重視する人にとっては、非常に魅力的なポイントです。

コンパクトな車体で、市街地での運転を主に行う人

ヤリスクロスは、コンパクトな車体で、市街地での運転に適しています。

そのため、市街地での運転を主に行う人には、非常に向いています。

スタイリッシュなデザインを好む人

ヤリスクロスのデザインは、スタイリッシュでモダンな印象を与えます。

そのため、スタイリッシュなデザインを好む人には、非常に魅力的です。

充実した安全装備を求める人

ヤリスクロスは、安全装備が充実しています。

例えば、衝突回避支援システムや、自動ブレーキ、車線逸脱警報システムなどが標準装備されています。

そのため、充実した安全装備を求める人には、非常に向いています。

ヤリスクロス購入後に後悔しないためのポイント

ヤリスクロスを購入するには、以下のポイントに注意することで、後悔することなく、満足のいく購入ができるでしょう。

事前に試乗を行い、乗り心地や運転のしやすさを確認する

ヤリスクロスは、一部のユーザーから乗り心地が悪いという意見が寄せられています。

これは、サスペンションの硬さや、シートの硬さが影響していると考えられます。

そのため、事前に試乗を行い、自分にとって運転しやすいか、乗り心地は良いかを確認することが重要です。

グレードやオプションをしっかりと検討し、自分のニーズに合ったものを選ぶ

ヤリスクロスは、様々なグレードが用意されています。それぞれのグレードによって、装備や性能が異なります。

例えば、一部グレードでは、アームレストが装備されていないという問題があります。

そのため、自分のニーズに合ったグレードやオプションをしっかりと検討することが重要です。

ディーラーや販売店で、納車時の条件やアフターサービスについて、しっかりと確認する

納車時の条件や、アフターサービスについても、しっかりと確認することが重要です。

例えば、納車時には、車の状態や、装備の確認を行うことが必要です。

また、アフターサービスについても、保証期間や、メンテナンスの内容について、しっかりと確認することが重要です。

ヤリスクロス購入は後悔するのかについての総括